

## 令和5年度 第4回 越前警察署協議会 開催結果

### 1 日時

令和5年12月13日（水）午後3時30分から午後5時

### 2 場所

越前警察署2階講堂

### 3 出席者

- (1) 協議会委員 5名
- (2) 越前警察署 署長以下11名



### 4 内容

- (1) 会長挨拶
- (2) 警察署長挨拶
- (3) 議事

#### ア 管内の治安情勢等

各課より各種取組状況の説明

#### イ 質疑・応答

##### 【委員】

年金支給日に、金融機関の前で啓発活動をしてほしい。

##### 【署長】

当署では、毎月15日の年金支給日に管内3つの市町をローテーションしながら、金融機関の前で啓発活動を実施している。今後も継続して実施していく。

##### 【委員】

先日、近所で高齢者の徘徊事案が発生し、越前署員の協力を得て、当該高齢者は無事に帰宅することができたと聞いた。

このような事案が発生した場合、事案を把握した警察や自治体などは情報を共有するような仕組みはあるのか。

##### 【署長】

警察と各自治体が結んでいるSOSネットワークという情報共有の仕組みが存在する。今回のような徘徊事案が発生した場合には、越前市であれば越前市長寿福祉課と情報共有を行うことになる。高齢者の徘徊事案だけでなく、行方不明事案、虐待事案などについても早期対応するために活用している。

##### 【委員】

先日、冠山トンネルが開通し、県外からの車両が多く流入して町内の交通量が大きく変化したことにより、町民は道路横断の際などに恐怖感を抱くようになった。

##### 【署長】

警察においてもその点については問題視しており、池田町等とも協力して総合的な対策を検討している。

道路管理者が交通量調査を実施しているので、同データを基にして対策を講じたい。

【委員】

冠山トンネル内で交通事故が発生したら、携帯電話の電波が届かないのではないかと。

【署長】

先日実施した通報訓練では、トンネル内は電波が届かない状況にあった。トンネル内で交通事故が発生した場合には、トンネル内の数カ所に設置されている非常通報装置を活用して事故発生 of 通報をしていただきたい。

【委員】

冠山トンネルが開通して、特に週末は県外からの車両が多く流入している現状があり、それに伴い犯罪が増加するのではないかと心配である。

【署長】

交通の便が良くなったというのは犯罪者にとっても同じことであり犯罪の増加が懸念される場所である。

当署においては週末の重点警戒を実施していく。また、町民には今まで以上に防犯意識を高めてもらう必要があるため、効果的な広報啓発活動も実施していく。

【委員】

最近、同僚の県外に住む大学生の娘さんが特殊詐欺の被害にあったと聞いた。特殊詐欺の被害に遭うのは高齢者だと思っていたので、身近なところで大学生という若い世代が被害に遭ったと知り、恐怖を感じている。若い世代が特殊詐欺の被害に遭わないように対策を取ってほしい。

【署長】

若い世代にとって切り離すことができないパソコンやスマートフォンに潜む危険性を効果的な方法でアピールしていく。県警察が委嘱しているサイバー犯罪対策ボランティアの大学生を活用した防犯活動も実施していく。

【委員】

管内の中央公園では夜間遅くまで少年がい集していると聞くと、少年が犯罪に巻き込まれないように対策をとってほしい。

【署長】

当署では、中央公園や村国公園等を中心に少年補導活動を強化している。また、当署員や当署のスクールサポーターが管内の小・中学校をまわって防犯教室を開催し、児童生徒に対して非行防止に関する呼び掛けを行っているが、引き続き力を入れて取り組んでいきたい。

## 5 開催状況

<質疑・応答の状況>

